

令和8年度 五島高校（全日制）学校経営方針

1 校訓・スローガン

向学 磨け知性を 立志
融和 語ろう理想を ～大いなる飛翔 故郷の未来を乗せて～
進取 燃やせ気魄を



2 教育方針

個に応じ、全体で伸ばす

【カウンセリングマインド】

- ①一人ひとりの実態を見とる
- ②聴く力

【リーガルマインド】

- ①情報を共有する
- ②伝える力

3 目指すべき学校像

☆生徒が成長を日々実感できる学校
☆五島と全国の子どもたちに選ばれる学校

- (1) 人間育成の場～生徒・教員がともに育つ学校～
- (2) 学びの場～『啐啄同時』の機会を捉える教師集団～
- (3) 学習・部活動・読書の鼎立を実践する学校
- (4) 開かれた学校～家庭・地域・学校の三位一体～

4 本校のスクールミッション

(1) どのような生徒を育成するのか【社会的役割】

校訓「向学 融和 進取」のもと、自ら課題を発見し、解決しようとする意欲を持ち、豊かな未来を拓くことができるたくましい人材を育成します。また、自他を大切にする豊かな人間性と社会性を備え、他者との協働を通して、社会貢献ができる人材を育成します。

(2) どのような教育をめざすのか【教育理念】

確固とした知識の習得に加え、事象の中から自ら問いを見出し課題の解決を行う探究型学習に取り組む教育を目指します。また、郷土に誇りを持ち、社会への理解を深め、国際化、情報化の急激な変化に対応できる理解力、判断力、技術力を身に付ける教育を目指します。

(3) 学校の特色、強み、魅力等【今後の方向性】

普通科においては総合的な探究の時間「バラモンプラン」、衛生看護科においては「看護臨地実習」等を通して、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、生徒一人ひとりの将来のキャリア形成に役立つ教育を展開します。また、離島留学制度における普通科スポーツコースでは充実した環境のもと、優れた競技者や指導者を育む教育を実践します。

5 今年度の重点目標

(1) 確かな学力の育成と自らを高める進路目標の設定

- ①日々の授業を重視し、基礎基本の定着、思考力・判断力・表現力、主体的な学習態度の育成を図る。
- ②生徒自ら学習する態度を醸成し、一人ひとりの能力伸長のための学習支援を図る。
- ③生徒理解のもと、集団の状況に応じた指導方法の研究や、ICT機器等の効果的な利活用、新たな評価方法の導入など、授業改善に努める。
- ④大学入試問題研究、研究授業の推進、教材の互換等により教科会を活性化し、指導力向上に努める。
- ⑤高等学校3年間及び卒業後までを見通した進路指導の充実を図り、生徒の進路実現の支援に努めるとともに、生徒一人ひとりの学力や学習実態を見取り、個に応じた丁寧な指導を行う。

(2) 豊かな人間性を育み、生徒一人ひとりを大切にする生徒指導と教育相談の推進

- ①観察、声かけ、面談等の地道な生徒把握を行い、組織的な生徒指導に努める。
- ②端正な容儀、爽やかな挨拶、整然とした集合・整列・解散、心を込めた掃除等を通じて豊かな人間性を育み、明るく一体感のある学校づくりに努める。
- ③生徒の状況把握、相談活動の充実により心身の健康を保持し、安定した学校生活を支援しながら、自身を取り巻く課題や問題を自ら解決する力を育成する。
- ④教育相談体制の充実を図り、学校不適應などの課題を抱えた生徒の早期発見・支援に努める。
- ⑤朝の10分間読書（豊かな時間）を通して、豊かな感性を養う。

(3) 生徒自らが考え作り動かす学校行事、生徒会活動等の推進

- ①学習と部活動の両立を目指し、達成感・充実感を得ることにより五高生としての自覚と誇りを育み、生徒の自己肯定感を高める。
- ②学級活動、生徒会活動、学校行事等を活性化させ、生徒の自主的・主体的態度を育む。

(4) 地域や関係機関等と連携しながら、五島だからこそできる特色ある教育の推進

- ①中学校との連携等を通じて、生徒の学びの連続性に留意した導入期の指導の充実を図る。
- ②外部講師の活用や「バラモンプラン」等を通じて、五島の良さや課題を理解させ、ふるさつに対する誇りと愛着、ふるさつに貢献する意欲・態度を養う。

(5) 保護者・中学校・地域社会との連携

- ①学校HP、あこう風の便りやInstagram、保護者へのメール配信等で積極的な情報発信と連携に努め、本校への理解と協力を得る。
- ②学校説明会やオープンスクール（体験入学）等を充実させ、入学志願者増を目指す。

(6) 安心・安全な学校生活環境の確保

- ①校内外の危険箇所の点検・改善を行う。
- ②緊急時の適切な対応について組織的に対応できるよう情報の共有を行う。
- ③公金等の取り扱いについて手順の共有と確認を行い、適正な処理を確実に行う。

(7) 服務規律の徹底を図るとともに、働きやすい職場づくりと職員の資質向上の推進

- ①あらゆる機会を通じて服務規律の徹底に努め、信用失墜につながる不祥事の防止に努める。
- ②ハラスメント防止と校務負担軽減に努め、働きやすい職場づくりに努める。
- ③時宣を得た研修内容の共有に努め、本校職員全体の資質向上と学校力の向上を図る。
- ④教職員のワークライフバランスを推進し、業務の効率化を図る。